

令和7年度地区懇談会（登別温泉地区） 議事録（概要）

令和7年10月21日（火） 14:00～15:30

コミュニティセンター泉和園 出席者15名

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

（1）クスリサンベツ川護岸の調査依頼について

概要説明：登別温泉地区連合町内会

- ・ 昭和7年9月13日の夕方から、14日未明にかけての大雨による影響で、カルルス、登別温泉で土砂崩れの被害や、万世閣社員寮、コミュニティセンター、泉和園裏の土止めコンクリート擁壁の、崩落被害が発生している。
- ・ 温泉住民として、昭和36年10月6日に発生した集中豪雨によるクスリサンベツ川の氾濫で、流失家屋14軒、火災家屋4軒、死亡者3名、行方不明者1名の、大災害を思い出しましたが、その後、昭和38年から40年頃に完成したと思われるクスリサンベツ川護岸が60年以上経過していることから、護岸基礎部分の調査依頼をお願いしたい。

回答：市民生活部

- ・ クスリサンベツ川護岸の調査依頼について、河川の管理者である北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部登別出張所に確認した。
- ・ 護岸の完成時期について登別出張所に確認したところ、完成は昭和39年とのことであった。
- ・ 登別出張所は、当該護岸について月に一度遠望目視点検、これは遠くから行う目視点検と、年に一度近接目視点検、これは近くからの目視点検を行っているとのことであった。
- ・ 直近の目視点検については年に一度、近くからの目視の点検は今年の4月に実施しているとのこと。
- ・ 月に一度の目視点検は9月に実施済みとのことで、目視点検の結果は「軽微な損傷はあるものの、経過観察をしている状況」「護岸の基礎部分の調査については、今後検討してまいりたい」との回答を登別出張所の方からもらっている。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ 登別温泉地区連合町内会の役員と温泉会社に依頼して、河川の清掃を行った。
- ・ 平成22年から27年にかけて、金額的には12～13万円かけて、ゴミを取ったり、木を切ったりはしたが、護岸の一部の部分では底の方がえぐれてるところがかなりあったので、その辺も踏まえて調査していただきたい。

回答：市民生活部

- ・ 登別出張所へ伝える。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

(2) 野生動物（外来種含）対策及び特定外来生物の対策について

概要説明：登別温泉地区連合町内会

- ・ 近年、温泉街を昼夜関係なく鹿、アライグマが悠々と歩いており、お客様へ危害を加えないかと危惧している状況である。
- ・ アライグマの繁殖増も大変困っており、また、特に特定外来生物のオオハンゴンソウが国立公園内で数年前から確認され、自然公園財団で駆除実施されているが、市はどのような形で対応しているのかをお聞きしたい。
- ・ 伊達市で繁殖しているアメリカオニアザミが、登別市にも入ってきているが、どのような対応をしているのかお聞きしたい。

回答：観光経済部

- ・ 有害鳥獣の関係について、市は、エゾシカ、アライグマを含む有害鳥獣を一年を通して、捕獲をしている。
- ・ エゾシカについては銃器やくくり罠で、アライグマは箱罠で捕獲をしている。
- ・ 登別温泉は、特に商店や宿泊施設、地獄谷などの観光施設があり、エゾシカの捕獲は難しいことから、近隣の中登別町で捕獲をしている。
- ・ また、アライグマについては、被害や目撃に応じ箱罠を設置しているので、何かありましたら観光経済部に連絡を願う。
- ・ エゾシカについては、近づかなければ危害を与えないが、本州のシカと比べると大きいので、刺激を与えてしまうと大きな事故につながることもある。また、温泉地区だけではなくて登別市内、全道的に見ても、エゾシカは増えているので刺激を与えないように気を付けていただきたい。
- ・ 環境省や北海道にも確認をしたが、エゾシカについては、なかなか有効な手立てがないというところで苦慮している現状を聞いている。

回答：市民生活部

- ・ オオハンゴンソウの対応について、特定外来生物オオハンゴンソウが、登別温泉周辺の国立公園などで確認されている。
- ・ 長年、自然公園財団が駆除活動を継続していると聞いている。財団の皆様におかれましては、まずは感謝申し上げます。
- ・ 次に本市の考え方であるが、オオハンゴンソウは国が指定する特定外来生物になり、本市においても確認されている。
- ・ 繁殖力が非常に強く、放っておくと在来の植物を駆逐してしまい、地域の生態系に悪影響を及ぼす恐れがある。
- ・ このような特定外来生物については、法律により都道府県や市町村が地域の実情に応じて、被害防止の取り組みを行うよう努めることとされている。

- ・ 本市においては、北海道の方針に沿って、周知啓発を進めているところである。
- ・ 周知に関しは、本年7月の広報誌において、特定外来生物オオハンゴンソウに関する、注意喚起の記事を掲載した。
- ・ 今後も、市民の皆様や関係団体の皆様と連携しながら、特定外来生物の侵入や拡大を防ぐための啓発を続けるとともに、市としても、道や関係機関と、情報共有を図りながら、適切な対応が進むように、努めていきたい。
- ・ アメリカオニアザミは、特定外来生物ではないが、非常に鋭いトゲがあるということで、繁殖力があり、在来の生物を駆逐してしまったり、押し除けてしまったり、あとは、人や動物にこのトゲで怪我をさせるということがあり、国が指定する生態系被害防止外来種に指定されているので、オオハンゴンソウ同様に、生息環境を広げないというような対応をしていきたいと考えている。

質問：登別温泉地区連合町内会

- ・ 日本工学院専門学校前の、市で桜を植樹しているところにかかなりの量のオオハンゴンソウが生えている状況で、トンネルを過ぎてからの沿道にも繁殖しているが、市としてどのように捉えているのか。

回答：市民生活部

- ・ 国、北海道の方でも、まずは生息域を広げない・むやみに持って帰ったりしないなどの周知に努めている。市のホームページや広報誌でも啓発を行い、オオハンゴンソウという植物に関する正しい知識を持ってもらいたいと考えている。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ 我々も根こそぎ取っているが、各町内に周知するなどをお願いしたい。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ シカについて、観光客が5メートルぐらいまで近づいて行って写真を撮っているのでもし当たったら事故になる。事故が起こってからでは遅いと思う。
- ・ アライグマについて、餌付けしてる人もいるという噂がある。餌付けはダメだというチラシを作ってほしい。事務局で全戸に配布する。

回答：観光経済部

- ・ 注意喚起について、何ができるかというのを持ち帰って考えたい。

質問：登別温泉湯の花町内会

- ・ 伊達で繁殖しているアメリカオニアザミのことだが、温泉、中登別のカントレラのところを目撃されている。そして、タンポポのように綿毛になって種が飛ぶので、消防分団の車庫のところで大きく繁殖しているのを見た。

- ・ 子どもが触ったら血が出るぐらいトゲがひどいので、除草剤かなにか良い対応はないか。

回答：市民生活部

- ・ アメリカオニアザミについて、自身の土地、自分の土地で、除草剤使うのはいいが、公共の場で除草剤を使用するのはなかなか難しいのが正直なところである。
- ・ 国の方でも、怪我をしないよう注意喚起をしているところだが、地道な活動で生息範囲を広げないということしか今はないかと思う。

質問：登別温泉湯の花町内会

- ・ 市の窓口に通報すると根を掘ってくれるなどの対策はできないか。

回答：市民生活部

- ・ 現状ではそのような対応はしていない。

意見：登別温泉湯の花町内会

- ・ していないとのことだが、考えていただきたい。

回答：市民生活部

- ・ ご意見として承る。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

(3) 旧国立病院跡地の温泉駐車場供用開始について

概要説明：登別温泉地区連合町内会

- ・ 旧国立病院跡地の温泉駐車場供用開始について、令和7年2月6日の新聞報道により知った状況である。
- ・ 令和7年3月12日第1回定例会において駐車場条例が可決された後、ようやく3月19日に温泉駐車場の供用開始説明会が温泉地区で開催され、コンベンション協会、旅館組合、商店会、町内会には、駐車場不足の解消を図るためとして、令和7年7月に供用開始をするとの説明会を泉和園で行われた。
- ・ 温泉住民へのその後の経過説明もない中で、6月26日第2回定例会において、12月供用開始を見込んでいる旨の発表を新聞報道で知った。
- ・ また、コンベンション協会と協議をしていたとは思いますが、温泉住民には何の説明もされずに、今夏の地獄まつり期間中に料金を徴収した臨時駐車場として旧温泉小学校跡地を活用していたが、そのようになった経過説明と、今後の計画並びに地獄まつり期間中の臨時駐車場の利用状況を説明していただきたい。

回答：観光経済部

- 温泉駐車場の供用開始について、登別温泉街の駐車場の確保については、近年のレンタカー利用による来訪者の増加や従業員の通勤に伴う駐車場の確保、日帰り観光客の増加などにより、温泉街の事業者の皆様から要望をいただいていた。
- 昨年10月には、宿泊事業者の皆様を対象にニーズ調査として、意見を交換させていただいた。
- その結果、年間契約による土地の貸付だけではなく、繁忙期と閑散期の駐車場のニーズに柔軟に対応できる手法による駐車場を望む声が多かったことから、従業員や宿泊客、日帰り客にも対応可能なコインパーキングの駐車場を整備する方向で改めて検討した。
- 本年3月には、登別市駐車場条例を制定するとともに、令和7年度当初予算に駐車場の整備と運営にかかる予算を計上して本年の3月19日に説明会を開催し、温泉の連町からは、登別温泉地区連合町内会事務局長に出席をしていただいているところである。
- 旧国立病院跡地の駐車場、登別温泉駐車場の管理運営事業者の公募に関しては、事業者の協議において、長期にわたる安定的な運営を確保するため、債務負担行為の設定をし、令和7年第2回登別市議会定例会において補正予算を計上している。
- 補正予算の後、7月の中旬から事業者の選定にあたってプロポーザルを実施し、提案内容や実施能力、総合的に評価した上で、事業者を選定し、9月上旬に契約を締結した。
- 駐車場事業者との協議が進み、一定の方向性がまとまったので、10月17日にコンベンション協会の会員に向けた説明会を開催したほか、現在は駐車場整備に当たっての詳細について事業者との調整を行っており、今後、環境省と協議をし、駐車場整備を行い、12月1日の供用開始を目指している。
- 次に登別地獄まつり期間中の駐車場の件について、例年祭り期間中において温泉街では交通渋滞が発生しており、宿泊するお客様にも影響が出ているため、本年3月19日に開催した、駐車場の供用開始にかかる説明会に、ホテル事業者や温泉地区の関わりのある事業者、登別温泉地区連合町内会事務局長にも参加をしていただいて、登別温泉地区連合町内会事務局長の方から、駐車場の不足や駐車、路上駐車の話が出ていた。
- 今年度については、渋滞緩和や、駐車場の不足などをなくすために、例年使用している旧温泉小学校跡地、旧国立病院跡地のほか登別伊達時代村を臨時駐車場として活用をし、一番近い旧国立病院跡地を2,000円、旧温泉小学校を1,000円、一番距離の遠い伊達時代村を500円として各駐車場に料金の差を設け、祭り期間中の温泉街の車の乗り入れが極力少なくなるように取り組んだ。
- また、今年度初の取り組みとして、駐車場の空き状況をリアルタイムで把握できるアプリを導入し、観光客にとって分かりやすい情報発信に努めた。
- 地獄まつり期間の2日間の利用状況については、旧温泉小学校跡地駐車場が延べ396台、旧国立病院跡地駐車場が延べ604台、登別伊達時代村駐車場が延べ362台となっており、祭り中には目立った渋滞も発生せず、来場者の通行の安全の確保と、渋滞緩和につながったものと考えている。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ 令和5年12月19日に行われた意見交換会で、市長の回答として「今後、情報共有はきちっとしたいと思っている。特に公有地の大きな場所は、皆さんが住んでいる市営住宅の部分、そして、旧国立病院、旧登別温泉小学校、全体部分については、ちょっとでも何かあれば、まずは町内会に情報共有を毎回させていただきたい」、という言葉でくくっていたのに、一回も説明もされずに進められたことに温泉住民として憤慨した次第である。
- ・ 市長はどのように考えてるか、謝るところはきちっと謝ってほしい。

回答：市長

- ・ 私自身も職員に指示をする時に、まず町内会に報告をしてからということを行っていたが、それが私も含めてできていなかったことに対して、深くお詫びを申し上げたい。
- ・ 今後、コンベンション協会に持っていく情報については、全て町内会に同等の情報提供をしたい。
- ・ 町内会には参考意見を聞いたりするために情報提供をするが、コンベンション協会に決断を求める場合と報告とを分けて情報提供していきたい。
- ・ 町内会の会員へ一気に情報を共有する方法について、今後お知恵をいただければありがたい。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ 駐車場について、排水を設けているが排水の蓋がされてないので危険だと思う。
- ・ 排水の関係で、いつもオーバーフローをしているので直していただきたい。

回答：観光経済部

- ・ 駐車場の排水の蓋やオーバーフローについては、技術的なことなどの問題があるので持ち帰って検討したい。

5. 地区連合町内会が市と意見交換したい事項についての懇談：

(4) 大雨対策について

概要説明：登別温泉地区連合町内会

- ・ 今回の9月13日、10月1日の大雨による、グランドホテル裏山の土砂流出に関連して、以前にもお願いした春先の雪解け頃に水が溜まる件について、登別出張所との関係もあるとのことで解決できなかった。
- ・ その排水溝が今回も詰まり、それがまた道南バスの方に流れ、道南バス前の排水溝も詰まり、その土砂が万世閣社員寮、コミュニティセンター泉和園の裏の土止め、コンクリート擁壁の崩落被害に繋がったと思われる。その被害について、今後どのように対策していくのかについてお聞きしたい。

意見：登別湯の滝町内会

- ・ 10月1日の大雨の時に、温泉ケーブルの方から大量の水が流れてきて、うちの店舗に水が入ってきて大変な状況だった。そのことについても市がどのように対策するのかお聞きしたい。

意見：市民（町内会不明）

- ・ 私の家の横に小川があり、10月1日の大雨の時に、ものすごい勢いで上の方から泥水が流れてきた。そのような場合に、流木などがつまって1回溢れてくるのが昔あった。そのようなときは、どこに連絡をしたらいいのか。

回答：市長

- ・ 電話については、道や国の間に入ることはできるので、市役所の代表に連絡いただければと思う。現場を見て、どこで対応するのかすぐに対応する。

回答：都市整備部

- ・ 今回の件に関してはグランドホテルの裏側で行われている後志森林管理所発注の治山工事の現場から流出した土砂により、このような被害になったものと考えている。
- ・ 後志森林管理所には現状を説明し、再発防止の要望を行っている。
- ・ 指摘のあった排水の流下能力の関係は、道南バス前の排水も含め、北海道と排水経路の調査を行っているところであり、調査結果を踏まえ、しかるべき処置を取っていく。
- ・ 10月1日の大雨の際、店舗のところまで水が入ってきたという件については、今時期、木の葉が落ちてきて上手く処理ができない原因になっているのかなと考えているので、市でもパトロールは実施しますが、もし葉っぱが多いなどがあれば、ご連絡いただければありがたい。

意見：登別湯の滝町内会

- ・ うちの担当の者がすぐに排水溝を開ければよかったが、その時は思いつかなかった。ただ、夜であれば対応ができない。

回答：都市整備部

- ・ 市の方で対応していきたいと考えているので、まずは、ご連絡いただければと思う。
- ・ また、川があふれてかなりの勢いで水が来るという件については、先ほど市長からお伝えしたが、都市整備部や総務部、代表電話でもいいので、一報いただければ我々が確認に行こうと思うのでお願いします。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ 店に水が入る件については、温泉ケーブルから水が流れてくるので、そこにグレーチ

ングを入れるなど考えてもらいたい。

回答：都市整備部

- ・ 状況を確認して、どのような方法がいいのか検討したい。検討結果は報告させていただく。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ 地区連の古い書類を見ていたら、平成23年に市の総務部のほうからだと思うが、土砂災害警戒区域等の指定に関する住民説明会等の書類が出てきたので、市にも情報提供する。

回答：市長

- ・ 恐らく平成23年頃が、土砂災害警戒区域を決め始めた時期だと思う。

回答：総務部

- ・ 平成23年に住民説明会があったということで、住民説明会を行ってから土砂災害警戒区域を指定するということになるため、住民説明会を行ったうえで防災マップに載っている地域が確定したということである。
- ・ また、いま北海道のほうで土砂災害警戒区域を順次追加と見直しを行っているので、近くまた同じような住民説明会が行われるかもしれませんので、随時情報提供を行っていく。

6. 市からの情報提供事項

(資料4) 新しい市役所本庁舎の整備について

説明：総務部

- ・ 資料に基づき説明を行う。
- ・ 質疑なし

6. 市からの情報提供事項

(資料14) 9月13日の豪雨に伴う登別温泉中央通り被災状況

説明：都市整備部

- ・ 資料に基づき説明を行う。

意見：市民（町内会不明）

- ・ 私は災害のことを知らずに、石水亭のほうからカルルスに向かう途中で看板が出てきたので引き返した。もう少し前に知らせることはできないか。

回答：都市整備部

- ・ 不便をおかけして申し訳ない。現在は派出所のところにも設置しているが、もし追加であったほうがいい場所があれば教えていただければと思う。

意見：市民（町内会不明）

- ・ 看板が小さく見えない、迂回の道順も分からない。

回答：都市整備部

- ・ 日本語だけでなく、外国語でも表記するなど検討させていただく。

質問：市民（町内会不明）

- ・ 先ほどの説明の確認だが、通行止めは来年の11月までということか。

回答：都市整備部

- ・ 片側通行は危険であるため、その予定である。
- ・ 工事が完成し、安全が確認された段階で通行止めを解除したいと考える。

質問：市長

- ・ 消防の下の丁字路のところの信号に「温泉からはカルルスに行けない」という主旨の看板があったほうが良いと思うか。

意見：市民（町内会不明）

- ・ そう思う。

回答：市長

- ・ それでは、丁字路のところには看板を設置する。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ 外国人はカーナビで反映されてないと行ってしまうと思うので、わかるような表示にしないと不親切になると思う。

<p>6. 市からの情報提供事項（各地区連合町内会から市に情報提供してほしい施策等） （資料1）大雨時の土砂災害について</p>
--

説明：総務部

- ・ 資料に基づき説明を行う。

意見：市民（町内会不明）

- ・ カントレラがなくなり、温泉は泉和園が避難所になるが、何人入るのかと。温泉は各地区で1つ避難所は設けているが、それだけでは足りないのではないかと考えている。

市の防災担当としてどのように考えているのか。

回答：総務部

- ・ 昨年の地区懇談会でもお話を聞いており、各旅館と協定について連絡を取っているところである。
- ・ この地区では大きな避難所を用意することが難しいため、全市で避難できるよう準備を整えたいと考えている。

意見：登別温泉湯の花町内会

- ・ 全市で考えているとのことだが、交通手段はどうなるだろうか。

回答：市長

- ・ 耐震化するときにホテル施設と協定を結んでいるので、耐震化したホテルのオーナーさんにはこの地域のみなさんを受け入れてもらえるようお願いしていきたい。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ すでに町内会ごとに一時的避難所を決めている。二次避難は泉和園である。

回答：市長

- ・ できれば今年の12月までに二次避難をできるようホテルと交渉する。

意見：登別温泉地区連合町内会

- ・ 昭和58年に登別温泉が孤立した時に、宿泊者の病気の関係で道警のヘリコプターで運んでもらった事例がある。旧登別温泉小学校に臨時ヘリポートを申請してほしい。

回答：市長

- ・ 道警の危機対策の方とすぐに対応していきたいと考える。

意見：登別温泉湯の花町内会

- ・ 避難所のことだが、ペットとの同伴の避難所は、登別温泉にあるのか。

回答：市長

- ・ ペットも家族だという認識に立って、これから検討していくところである。

その他

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ なし |
|--|